

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公表番号】特表2007-500209(P2007-500209A)

【公表日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【年通号数】公開・登録公報2007-001

【出願番号】特願2006-532386(P2006-532386)

【国際特許分類】

A 6 1 K	9/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/04	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2006.01)
A 6 1 K	47/24	(2006.01)
A 6 1 K	47/12	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/14	(2006.01)
A 6 1 K	9/72	(2006.01)
A 6 1 K	9/12	(2006.01)
A 6 1 K	31/573	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	9/10
A 6 1 K	47/04
A 6 1 K	47/34
A 6 1 K	47/24
A 6 1 K	47/12
A 6 1 K	47/10
A 6 1 K	47/14
A 6 1 K	9/72
A 6 1 K	9/12
A 6 1 K	31/573

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月27日(2007.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

液体連続相および表面改質された無機ナノ粒子を含む連続相と、

液体連続相に分散された粒子を含む分散相と、

を含む分散液。

【請求項2】

分散相が1種または複数種の医薬品を含む、請求項1に記載の分散液。

【請求項3】

分散された固相および液体連続相を含む分散液に有効量の表面改質された相容性無機ナノ粒子を添加することを含む、分散液の安定化方法。

【請求項4】

治療上有効量の請求項2に記載の薬物分散液を、経口、注射、局所、その鼻腔路経由、

吸入、およびその組合せからなる群から選択される投与手段によって哺乳類に投与することを含む、哺乳類の治療方法。

【請求項 5】

連続相に分散される分散相成分、および表面改質された無機ナノ粒子を含む分散液キット。